

(ご参考：6/23) 経済関係ニュースレター（在シアトル総領事館）

ワシントン州日系企業・団体・レストラン関係者の皆様

在シアトル日本国総領事館経済班です。

本ニュースレターでは、当地の日系企業・団体、レストラン関係者の皆さまを含む在留邦人の方々へ、当地経済や日米関係等のニュースを「経済関係ニュースレター」として配信するものです。今後の配信を希望されない場合は、件名に「ニュースレター配信解除」と記入の上、[こちら](#)までメールを返送ください。

本日の参考情報を以下のとおりお知らせします。

このニュースレターでは、多くの方にご利用いただける有益な情報の提供があった場合、情報元を示して掲示しています。なお、このことは、総領事館として、情報元の団体・個人をいかなる意味でも宣伝・推薦するものではないことを申し添えます。

本ニュースレターを追加で受け取りたい方が周りにいらっしゃいましたら、[こちらの登録フォーム](#)をご紹介ください。また、当地日系企業等に周知できる有益な情報などございましたらお知らせください。館内で確認し、公平・中立の観点から適切なものを本ニュースレター等で共有させていただきます。

在シアトル総領事館では別途、月2回の英語ニュースレター"From Japan to the Northwest"を配信しています。こちらでは日本に関する政治・外交等の情報や当館の活動などを発信しています。登録及び過去のアーカイブは[こちら](#)から。

日ワシントン州経済関連ニュース

(1)ワシントン州のガソリン価格が全米で最高値に

今週のワシントン州におけるガソリン1ガロン当たりの平均価格は4.91ドルと、高値で知られるカリフォルニア州を凌ぎ、全米で最高値となった。キング郡では、同5ドル以上となった。同価格の全米平均は、ワシントン州よりも1.50ドル低い3.58ドルである。ワシントン州では、炭素排出量の多い企業に余剰排出量に合わせた課金をするキャップ・アンド・インベストメントを開始したが、同制度による支払いを埋め合わせるために石油会社

がガソリン価格を値上げし、1ガロン当たり50セント高値になったことが主要な原因と見られる。州は、石油会社によるこのようなガソリンの値上げを禁止する権限は有していない。[\(6/21付シアトルタイムズ紙\)](#)

(2) シアトル地区の生活費がサンフランシスコと同レベルにまで上昇

米労働統計局の経済データによると、過去3年間でシアトル地区の生活費は20%上昇し、サンフランシスコと同レベルとなり、全米で最も生活費の高い都市圏となった。一方で、同期間のシアトル地区の賃上げ率は16%と生活費の上昇よりも低い数字となった。パンデミック以前のシアトル地区では、生活費の20%上昇には10年かかっていた。全米平均よりも高いインフレ率が生活費の高騰につながっており、ガソリン、車両、食料品の価格上昇が顕著である。また、ワシントン州で寝室が1部屋のアパートを借りるためには、少なくとも、州の最低賃金のほぼ2倍となる時給30.33ドルが必要であり、シアトルルーベルビュー地区では、時給40.38ドル、年収では8万4000ドルにまで跳ね上げる。[\(6/20付シアトルタイムズ紙\)](#) [\(6/14付シアトルタイムズ紙\)](#)

(3) ワシントン州が牽引する持続可能な航空産業

フランスで6月19日から開始されたパリ航空ショーにおいて、インズリー知事は、モーゼスレイク市に合成燃料（E-fuel）スタートアップのTwelve社による商業用の合成燃料製造施設が建設されることを発表した。同市は、水力発電によって安価で安定した電力供給が可能であり、ワシントン州は、合成燃料の材料となるバイオマスが豊富である。また、州では、クリーンエネルギー製造施設の建設許可及び州税に関し優遇措置を取っている。更に、同知事は、水素燃料航空機のスタートアップであるZeroAviva社への補助金提供と同社のエバレット市のペイン・フィールドにおける事業拡大についても発表した。これにより、同社による大幅な雇用拡大が見込まれる。[\(6/19付シアトルタイムズ記事、州知事室ウェブサイト\)](#)

(4) キング郡で人種の多様化が進む アジア系が増加

米国勢調査によると、キング郡では2021年7月から2022年7月の1年間で有色人種が3万1,200名増加した一方で、白人が1万7,400名減少した。キング郡住民の人種別では、白人が55%と最多で、次いでアジア系が21%となった。人種別では、アジア系の増加率が前年比で4%と最も高くなった。[\(6/22付シアトルタイムズ記事\)](#)

(5) シアトル市民の60%が公共の場での違法薬物使用による逮捕を支持

シアトルタイムズがシアトル市民500名を対象に実施した調査によると、公共の場での違法薬物使用に関し、警察による逮捕を支持したのは60%となった。シアトル市では、薬物使用と暴力犯罪の増加が問題となっており、シアトルダウントOWN委員会では、市により積極的な対応をするよう求めている。[\(6/21付シアトルタイムズ記事\)](#)

その他、ジェトロビジネス短信記事より

2023年6月23日 [ジェトロ、調査レポート「米国におけるEV用バッテリーのリサイクル事業の現状と見通し調査」を公表](#)

2023年6月22日 [米税関、電子渡航認証システム（ESTA）のモバイルアプリの提供開始](#)

2023年6月22日 [米環境保護庁、2023～2025年の再生可能燃料混合基準の最終規則を発表、eRIN導入は見送り](#)

2023年6月20日 [米ボストンで世界最大級バイオ展示・商談会「BIO International Convention」開催](#)

総領事館からのお知らせ

(1) 外国人向けの日本料理人育成プログラム参加者募集

日本食・食文化普及人材育成支援協議会が、農林水産省のサポートを受け、外国人料理人のための日本料理の育成プログラムの参加者を募集しています。コースは2種類あり、基礎（Basic）コースでは、オンライン研修と、優秀者を対象とした日本国内での短期間の実務研修が行われます。上級（Advanced）コースでは、短期間のオンライン研修と、約半年間にわたり日本国内の料理店で実務研修を行う長期間の招へい研修が行われます。

【締切】2023年6月30日（日本時間）

【応募方法】[こちら](#)をご覧ください

編集後記：

夏至を過ぎ、待ちかねたシアトルの夏がやってきました。今後1週間の天気予報は全て晴れマークで、最高気温も25度前後と気持ちの良い日が続くようです。日が暮れるのは9時過ぎで、夕食後もたっぷり太陽の光を楽しめるのがうれしいところ。お子さんがいる家庭では夏休みも始まり、旅行される方も多いと思いますが、今日のシータック空港は、[「過去最高の混雑ぶり」](#)だそうです。国内線で2時間前、国際線では3時間前には空港に着しておくように推奨されているとのこと。旅行するのも、ひと苦勞ですね。

(注意点) 本情報は、ワシントン州の主要な行政機関や団体のウェブサイトの情報をもとに、その時点における当地日系企業・NPO・邦人労働者に役立つ情報を、皆様のご参考として迅速に日本語で届ける目的で発信しているものです。法的助言を構成するものではなく、法的助言として依拠すべきものではありません。実際の申請等に当たっては、該当するウェブサイトで最新の情報や詳細を直接ご確認ください。なお、当館として個別企業の申請書作成等の支援は出来かねますのでご容赦ください。

(免責) 本メール又は当館情報に関して生じた直接的、間接的、派生的、特別の、付随的、あるいは懲罰的損害及び利益の喪失については、それが契約、不法行為、無過失責任、あるいはその他の原因に基づき生じたか否かにかかわらず、一切の責任を負いません。

(領事メールについて) 当館では外国に3か月滞在される在留邦人に対し、旅券法に基づく在留届、帰国・転出等の届出をお願いしております。本届けでメールアドレスをご登録いただいた方に対して、コロナに関する情報や各種安全情報を領事メールにてお送りしておりますほか、緊急時の安否確認を当館から行うためにも必要なものですので是非ご協力ください。詳細はこちらをご覧ください。

https://www.seattle.us.embjapan.go.jp/itpr_ja/zairyu.html

(Unsubscribe:配信停止)

当館が把握しているワシントン州日系企業に本ニュースレターをお送りしております。今後、本メールが不要な方はその旨ご返信をお願いいたします。

Consulate-General of Japan in Seattle
701 Pike Street, Suite 1000
Seattle, WA 98101
206-682-9107